

2021年11月2日

「UCDAアワード2021」の受賞について

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上プライマリー生命保険株式会社（取締役社長：永井泰浩）は、一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会※（理事長：在間稔允）が主催する「UCDAアワード2021」において、「アナザーボイス賞」および実行委員会表彰「ブロンズ賞」を受賞しました。

※一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会（UCDA）

2007年に設立された、情報コミュニケーションが生活者にとって「見やすく、わかりやすく、伝わりやすい」デザインになっているかを評価・認証する国内唯一の第三者機関。

ユニバーサルコミュニケーションデザイン（以下、「UCD」）とは、伝えたい相手が正しい判断をできるように、「見やすい、わかりやすい、伝わりやすい」情報のコミュニケーションを実現するための考え方です。

当社は「お客さま第一の業務運営に関する方針」の一つとして「お客さま視点に立ったわかりやすい情報提供と適正な保険募集」を掲げています。商品・サービスに関する重要な情報をお客さまに正しくご理解いただくために、文字の大きさや配色などの見やすさを工夫しているほか、複雑になりがちな保険の仕組みをわかりやすくするために図やイラストを活用するなど、お客さまにとってわかりやすい情報を提供する観点から各種募集資料等の作成を行っています。

当社はこれからも、「お客さま第一の業務運営に関する方針」に則り、当社の商品・サービスに関する情報が、お客さまにとって、より見やすく・理解しやすいものとなるよう努めてまいります。

<当社の受賞概要>

「UCDAアワード」は、企業（団体）・行政が生活者に発信するさまざまな情報媒体を、産業・学術・生活者の「集合知」により開発した基準を使用して「第三者」が客観的に評価し、各カテゴリにおいて優れたコミュニケーションデザインを表彰するもので、年に1回開催されるアワードです。

本年度は、「対面、非対面、アナログ、デジタル大切なのは『情報品質』」をテーマとして開催されました。

「第三者」による客観的な評価



1. 「アナザーボイス賞」（特に生活者の評価が高いもの）

○カテゴリー：資産形成

○評価対象物：窓口販売商品のパンフレット

○対象資料：「しあわせ、ずっと2」契約締結前交付書面 兼 商品パンフレット

○受賞理由：①文字が大きく読みやすい。

②また、コントラストを確保した色使いは注意事項がよく目立ち、「どこに注意をすればいいのか」という生活者への配慮に優れる。

③二次元バーコードを随所に配置してWebページと連動し、適切な情報提供を行うなど、生活者に寄り添った構成である。

【参考】 アナザーボイス賞を受賞した「しあわせ、ずっと2」契約締結前交付書面 兼 商品パンフレット



表紙



中面(抜粋)

2. 実行委員会表彰「ブロンズ賞」

実行委員会表彰は、ユニバーサルコミュニケーションデザインに関する企業の1年間の取り組みとして、以下の5項目で評価されるものです。

- ・UCD推進担当部門の活動
- ・アワードエントリー
- ・UCDA資格認定取得実績
- ・UCDA認証取得実績
- ・UCD推進活動（UCDセミナーや社内推進の活動）

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

三井住友海上プライマリー生命保険株式会社 経営企画部 広報担当 電話 03-3279-9001